

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	旧三岳山の家管理事業			610109	担当課	生涯学習課			
	開始年度	平成14(2002)		終了予定年度	平成31(2019)		作成責任者	崎山 正人		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料		240	頁		
	施策の大綱	青少年の健全育成			関連計画等	公共施設マネジメント実施計画				
	施策名	健全育成活動を促進する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	施設の適正な維持管理を行う。								
	対象者	-		対象者数	-		一人当たりコスト	-		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 三岳地区自治会(施設周辺草刈)								
	事業概要	施設の活用方法が決定するまで、必要最小限の経費をもって、施設の適正な維持管理を行う。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項 目		具 体 的 な 内 容				H29経費		
		需用費		光熱水費				185		
役務費		建物共済保険				73				
委託料		施設周辺草刈委託業務				216				
関連事業										
予算と執行の状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		551	508	444				
		補正予算等・・・②		0	△ 30	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		551	463	430				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	15	14				
		特定財源名称 (H29実績)	電柱占用料			15	使用料	12	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.19/0	0.16/0	0.16/0	/			
		概算人件費・・・④		1,520	1,280	1,280				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,071	1,758	1,724					
執行状況	執行額・・・⑥		521	474						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		94.6%	99.2%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
				/	/	/				
				/	/	/				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
				/	/	/				
		単位あたりコスト		0.0	0.0					
			/	/	/					
	単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・施設の活用方法が決定するまでの、施設維持管理は必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・施設の維持管理に必要最小限のコストで管理を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	×	・施設の活用方法が決定するまでの施設維持管理事業であり、適切な目標設定が困難である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	×	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	×	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	今後の施設活用などについては、地元及び関係部署と協議を行っている。方向性が決定するまでは、必要最小限の維持管理を実施しているが、施設の老朽化が進行する中で民間事業者等の活用方法を探っている。	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●H30.1月に「官民連携によるサウンディング型市場調査」の実施を公表し、1社の事業参加者を得て2月に現地説明会、3月にサウンディング(事業者との対話)を行った。 ●実施の結果、直ぐに実行可能な事業者でないことを確認したが、施設・設備の貸付等活用アイデアも含めた提案もあったので、参考意見としてでも良いので追加の対話を続けていきたい。 		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> ・一刻も早い処分を(資産活用に) ・これを継続する意義はなく、次の可能性もほとんどない ・除草等のコストも看過できないが、数千万以上を投じて改修 or 除却することも財政的には現実的には許容できないと思料する。譲渡先を探して地道に管理を続けていただきたい。 ・維持管理なのでとくになし(しばらくこの状態が続くのならば、別の事業に含めては) 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		